

第1回 洲本川水系河川整備計画懇談会

議事概要

事項	第1回 洲本川水系河川整備計画懇談会	参加者	別紙参照
日時	令和4年7月8日 13:00~14:10	場所	淡路県民局 2階 会議室
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 開会あいさつ 3. 委員及び出席者紹介 4. 洲本川水系河川整備計画懇談会の設置について 5. 洲本川水系河川整備計画懇談会規約について 6. 委員長の選出 7. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 洲本川水系河川整備計画懇談会運営要綱 (案) (2) 洲本川流域の概要 (3) 意見交換 8. その他 (連絡事項) 9. 閉会 		
資料	資料1 : 出席者名簿・配席図 資料2 : 洲本川水系河川整備計画懇談会の設置について 資料3 : 洲本川水系河川整備計画懇談会 規約 (案) 資料4 : 洲本川水系河川整備計画懇談会 運営要綱 (案) 資料5 : 河川整備計画概要 説明資料 資料6 : 洲本川水系河川整備基本方針 資料7 : 洲本川水系河川整備計画 資料8 : 河川用語集 資料9 : 関係法令 資料10 : 兵庫県高潮対策10箇年計画パンフレット		



1. 開会

○「第1回 洲本川水系河川整備計画懇談会」を開会した。

2. 開会あいさつ

○兵庫県 淡路県民局 洲本土木事務所長より開会のあいさつを行った。

3. 委員及び出席者紹介

○委員、事務局（兵庫県）の紹介を行った（資料1）。



4. 洲本川水系河川整備計画懇談会の設置について

○事務局より、過去の河川法改正経緯を含めた河川整備基本方針と河川整備計画についての説明や、本懇談会の位置付け、兵庫県高潮対策10箇年計画の概要、河川整備計画の策定スケジュール等について説明があった（資料2）。

5. 洲本川水系河川整備計画懇談会規約について

○事務局より、洲本川水系河川整備計画懇談会規約（案）について説明があった（資料3）。案について了承され、本日付けで施行された。

6. 委員長の選出

○委員の推薦により、道奥委員が委員長に選出された。
○委員長選出を受けて、道奥委員が就任あいさつを行った。
○規約第5条第3項について、委員長代理として、委員長より藤原委員を指名し、了承された。



7. 議事

(1) 洲本川水系河川整備計画懇談会運営要綱（案）

○事務局より、洲本川水系河川整備計画懇談会運営要綱（案）について説明があった（資料4）。案について了承され、本日付けで施行された。

(2) 洲本川流域の概要

○事務局より、洲本川流域の概要について、パワーポイントにて説明を行った（資料5）。



8. 意見交換

○洲本川流域の概要等について、意見交換を行った。

(資料5 : p. 29) 既往洪水の被害状況数について

座) 既往洪水の被害状況数は洲本川流域のものなのか、淡路島全体のものなのか。

事) 確認後、回答させていただく。

(資料5 : p. 37~43) 現行整備計画に対する変更箇所について

座) 現行の整備計画に対して今回変更を行うのは、高潮対策とソフト対策の2点か。千草川・竹原川の対策は現行整備計画から変更なしと考えてよいか。

事) 整備が完了していない千草川・竹原川の対策は現行整備計画のままとし、それに高潮対策を追加することを考えている。

座) ソフト対策については高潮対策に限らず流域全体で実施していくと考えてよいか。

事) そのとおりである。

(資料5 : p. 42) 高潮対策の対象範囲について

委) 「兵庫県高潮対策10箇年計画パンフレット」で示されている対象箇所のうち、今回議論の対象となるのは、洲本川河口部のみなのか、海岸部分の洲本大浜も含むのか。

事) 今回議論の対象となるのは洲本川河口部のみである。

(資料5 : p. 15) BOD(生物化学的酸素要求量)の推移について

座) BODの推移について、下水道整備の効果はあると思うが、それ以外に圃場整備や圃場の用排水分離等の効果もあるのか。

事) 具体には把握できていないため、確認後、回答させていただく。

今後の工事について

委) 今後始まる工事について次回の懇談会で議論したい。

座) 今後具体的な実施案の議論をする際に、色々ご提案をいただきたい。

河床の現状や影響について

委) 河川部分に関しては説明があったが、河床部分に関しての現状や対策実施における影響についても検討するとよい。

事) 次回の懇談会で説明をするようにしたい。

凡 例
座) 委員長意見 委) 委員意見
事) 事務局回答



座) 今後、具体的な対策実施についての議論をする際に、詳しいご意見をお願いしたい。

(資料5 : p.16~20) 外来種の侵入について

座) 外来種の説明があったが、生物調査等の観点から気づいた点、コメント等はあるか。

委) 工事にあたり、土砂の移動があると、淡路島だとナルトサワギク等の外来種が多く入ってくる可能性があるなので、土砂の移動をできる限り少なくするのが望ましい。

9. その他（連絡事項）

- 本懇談会の議事録は、作成次第、委員に確認をとり、懇談会資料と併せて県のホームページにて公開する。
- 第2回 洲本川水系河川整備計画懇談会は、令和4年8月10日(水)の14時より開催する。

10. 閉会

- 「第1回 洲本川水系河川整備計画懇談会」を閉会した。



第1回 洲本川水系河川整備計画懇談会 出欠表

所属および専門		職名	氏名	出欠
委員	河川工学	法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科教授	道奥 康治	○
	植生学、 景観生態学	兵庫県立大学大学院緑環境景 観マネジメント研究科教授兼 県立淡路景観園芸学校教授	藤原 道郎	○
	関係団体	洲本炬口漁業協同組合 組合長	山本 浩之	○
	地元住民	洲本市潮地区連合町内会長 代理	西岡 秀行	○
	行政	洲本市都市整備部長	高町 直孝	○
事務局	兵庫県 淡路県民局 洲本土木事務所	所長	田中 修平	○
		河川砂防課 課長	鈴木 茂伸	○
		河川砂防課 主査	柴田 良一	○
		河川砂防課 職員	白石 伸幸	○
		河川砂防課 職員	中嶋 友哉	○
	兵庫県 土木部	総合治水課 主査	伊藤 真人	○
		総合治水課 職員	上野 ななみ	○

(敬称略)